

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1210	サンスクリット文献学 <Sanskrit Philology>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
インド文学	和田 壽弘(WADA Toshihiro)		後期	月曜：5限
講義題目 Title	新ニヤーヤ学派の言語理論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	サンスクリット中級の知識とインド哲学史の基礎知識が必要。			
授業の目的 Purpose	<p>インドで現代にも伝統が継承されている論路学と言語哲学を含む認識論との綱要書を読解することにより、インド言語哲学の基本的な思考法を学ぶ。この言語哲学は、存在論と密接に関わっているので言語以外の哲学的主題についての知識も欠かせない。言語分析に挙げられる例文は、宗教儀礼に使われるものが多く、宗教的側面も学ぶことにもなる。これは「社会」に必要な哲学的宗教的素養を培うことになる。</p> <p>This course aims to improve students' ability of reading higher Sanskrit. At the end of the course, they are expected to acquire deeper knowledge of the analysis of language (Sanskrit) in Indian New Logic, i.e., Navya-nyaya. Our inquiry into the Navya-nyaya analysis will lead us to reflect how we understand the function of language and communicate in language.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>ニヤーヤ学派とヴァイシェシカ学派の、17世紀頃に書かれた綱要書『ニヤーヤ・シッダーンタ・ムクターヴァリー』（論理定説環）のサンスクリット原典を読む。学生は十分予習を必要とする。講義の後の質疑を繰り返すことにより理解が深まるので、十分な議論の時間を設ける。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：ニヤーヤ学派とヴァイシェシカ学派の歴史 第2回：『ニヤーヤ・シッダーンタ・ムクターヴァリー』の構造 第3回：7範疇の列挙 第4回：第1範疇：実体 第5回：第2範疇：属性 第6回：第3範疇：運動 第7回：第4範疇：普遍 第8回：第5範疇：特殊 第9回：第6範疇：内属 第10回：第7範疇：非存在 第11回：推論理論 第12回：妥当な推論と非妥当な推論 第13回：言語認識 第14回：言語認識の原因 第15回：総括</p> <p>定期試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Nyaya-siddhanta-muktavali, edited by N. Shastri and S. Shastri with the Kiranaval of Krsnavallabhacarya, Varanasi: Chowkhamba Sanskrit Series Office, 1972.			
参考書 References	Madhavananda, Bhasa-Pariccheda with Siddhanta-muktavali, Calcutta: Advaita Ashrama, 1977.			

受講生の 自宅学習 Preparation and review	予習と復習は必須である。
成績評価の 方法と基準 Evaluation	試験 5 0 %、平常点（予習の状況と授業中の質疑を評価対象とする） 5 0 %。
連絡方法 Contact information	E-mail: twada@lit.nagoya-u.ac.jp Phone: 052-789-2278